■　研究論文　（受付日　年　月　日　/査読終了日　年　月　日/受理日　年　月　日）

和文タイトル(20ポイント)

英文タイトル(16ポイント)

(11ポイント)日本ホスピタリティ大学　　田中　一郎
(11ポイント)Nihon Hospitality University　Ichiro TANAKA

Abstract

Academic society aaaaaaa（英文）××××（10.5ポイント）

Keywords：（英文, 3-5wordsまで）××××（10.5ポイント）

１．はじめに

ホスピタリティ概念と観光政策における戦略的融合に向け・・・・・・・・・・・本研究の目的とする(1)。

○○○(2)。本文（10.5ポイント）

○○○。本文（10.5ポイント）

○○○。

○○。

２．先行研究（私研究の前提となる研究など）

２．１○○○○○○○

○○。

表１．ホスピタリティ概念のまとめ

本表をご利用下さい。

（出所）田中太郎(1980)『文献名』, ○○出版, P.7を参考に筆者が一部加筆し作成.

「○○。(3)」

２．２○○○○○○○

○○○。

図１．○○市の65歳以上の人口統計

小さな図はこの様式をご使用下さい。

（出所）○○市『○○市人口統計』，pp. 11-12 の表３を参考に筆者が作成.

　○○。○○。

３．課題点（現状などの課題点について）

３．１○○○○

　○○○。

　○○○。

図２．○○○○○

大きな表、及び図はこの様式で記載下さい。

（出所）田中太一(2002)『文献名』，pp. 21-22 を参考に筆者が作成.

　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○。

○○○。

○○○。

３．２○○○○

○○○。

表２○○○○

（出所）田中太(2000)「○○特性」,『HOSPITALITY』, 第10号, pp.15-20を参考に筆者が作成.

４．仮説（又は問題点の対応案など）

４．１○○○○○

○○。○○○。○○。

４．２○○○○○

○○。○○○。○○○。

４．３○○○○○

○○。○○○。○○。

５．検証および考察（又は検討および考察など）

５．１○○○○○

○○。○○○。○○○

○○○○○○○○○。

5．2○○○○○

○○。○○○。○○。

5．3○○○○○

○○。○○。○○○。

6．おわりに

○○。○○○。○○。○○。

注

(1) 小林次朗(2010)『図説サービスマネジメント』, 共創書籍, p.210.

(2) 鈴木一郎(2001)「○○の共創の特性」, 『学会誌名』, Vol. 1, No 45, pp.55-60.

(3) Eysenck,H. , J. A., *Comparative Study of Four Screening Test for Neurotics*, Psychol. Bull., Vol. 42, No. 1, 1945, pp. 659-660.

(4) Lane, H. E., *Essentials of Hospitality Administration*, Reston Publishing Company, 1nc. , 1983, p. 52.